

段落の話題 「何の話?」

名前：

点数： / 6問

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く

きょうのルール 段落を読んだら、まず「何の話?」を一語～ひとことと言う。話題は段落のはじめに置かれることが多い。話題が変わったら、段落の役割も変わる。

- ① 日本には、四つの季節がある。春、夏、秋、冬だ。それぞれの季節に、ちがった楽しみがある。

この段落の話題をひとことで答えましょう。

- ② あさがおを育てるには、まず日当たりのよい場所を選ぶ。水やりは朝がよい。つるがのびたら支柱を立てる。

この段落の話題を答えましょう。

- ③ ねこは一日の大半をねて過ごす。ところで、犬の一日はどうだろうか。

話題が変わる合図になっている言葉をぬき出しましょう。

- ④ 鉛筆は、しんの濃さで種類が分かれる。たとえばHBや2Bだ。用途に合わせて選ぶとよい。

この段落の話題として、よいものを選びましょう。 ア 鉛筆のしんの濃さ イ 2Bのよさ

- ⑤ 海の水は、なぜしょっぱいのだろうか。

この一文で始まる段落は、この後どんな話になると予想できますか。

- ⑥ 第一段落：朝ごはんの大切さ 第二段落：しかし、朝ごはんをぬく人が増えている

第二段落は、第一段落に対してどんな役割ですか。 ア 同じ内容のくり返し イ 話の流れを変える転換

① (日本の) 四季 (季節)

② あさがおの育て方

③ ところで

ポイント 「ところで」「さて」は話題転換のサイン。

④ ア

ポイント 具体例 (2B) を話題と取りちがえない。

⑤ 海の水がしょっぱい理由 (の説明)

ポイント 問いかけの文は、話題の予告。

⑥ イ

おうちの方・先生へ (丸つけの窓)

話題を「一語で」言わせてください。長く説明し始めたら、まだつかめていないサインです。

まちがえた問題は、「きょうのルール」にもどってもう一度。自分の答えが合っているか不安なときは、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。どこが良くて、どこで失点するのかを具体的にお伝えします。(無料相談：nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定)